

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、決議します。

2015年 9月5日

組織名【全医労愛知地区協議会】

2015年度地区協定期大会参加者一同

【賛同者の名前やメッセージなど】

私たちの働く国立医療機関は、日本国憲法25条を具現化し、

国民医療の充実・発展を使命として設立されました。憲法を捻じ曲げ、

再び国家のための医療機関とするような策動は絶対にゆるされません。

